

## 1. 気象概況 (中野市長丘地区気象ロボット観測データによる)

月間	旬別	上旬		中旬		下旬		月間		コメント
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
9月	平均気温 (°C)	26.7	22.2	21.9	20.3	18.6	18.0	22.3	20.2	月間平年比+2.1°C (高)
9月	降水量 (mm)	51.5	52.7	16.0	49.8	42.0	30.4	109.5	132.9	月間平年比 82% (少)
9月	日照量 (h)	63.0	52.7	38.7	50.9	45.0	53.5	146.7	157.1	月間平年比 93% (並)

- 9月特記：猛暑日3 最高37.3°C(9/3) 最低9.2°C(9/30)多雨24.5mm(9/25)
- 台風特記：9/3瞬間最大風速15.5m/s(南)9/7瞬間最大風速14.0m/s(南南西)
- 上旬(平年比)：気温(激高)+4.5°C、降水量(並)98%、日照量(多)120%
- 中旬(平年比)：気温(高)+1.6°C、降水量(極少)32%、日照量(少)76%
- 下旬(平年比)：気温(並)+0.6°C、降水量(多)138%、日照量(少)84%
- 月間(平年比)：気温(高)+2.1°C、降水量(少)82%、日照量(並)93%



## 2. 生産の経過・病虫害発生状況・今後の対策

## 【生産特記2020】

- ① 生産基盤(推定)：ぶどう350ha・りんご150ha・もも85ha・和梨12ha・西洋梨6ha・桜桃9ha・柿6ha・プラム40ha
- ② 生育経過：4月生育遅滞(満開平年並) 5月少雨・干ばつ 6-7月過去にない長梅雨 8月酷暑 9月過去にない猛暑
- ③ 収穫開始①：秋姫8/26、パール9/15
- ④ 収穫開始②：川中島8/17、黄金桃8/21、さくら9/5、白根9/10、GP9/15
- ⑤ 収穫開始③：ドルチェ9/5、すわっこ9/10、秋映9/28、スイート10/5、ゴールド10/15、王林10/20、名月11/1、百年11/5～
- ⑥ 収穫開始④：ナガノP8/30、有核巨峰8/30、種なし巨峰9/2、シャインM9/16、ピオーネ9/16
- ⑦ 収穫開始⑤：豊水9/3、バラード9/10、あきづき9/5、南水9/10、ラフ9/18-27
- ⑧ 9月猛暑の影響：重度の日焼け多発、果肉先行、害虫被害拡大、もも類で成熟遅滞他
- ⑨ プラム：生産量昨対 貴陽40%、太陽40%、秋姫40%。太陽に果頂部裂果、秋姫・シナノPに日焼け症状、果肉褐変症多発。
- ⑩ もも：生産量昨対 なつっこ90%、川中島80%、黄金桃100%。晩生種までは果肉先行により収穫期間は平年より短い。極晩生は高温で成熟遅滞顕著で経過。面積減・結実不良・収穫前ロス多発・せん孔病被害発生等の複合的な要因で大きな減収。
- ⑪ りんご：生産量昨対105%見込み。秋映・ふじサビ率非常に高い。果実肥大良好。盆後につがる・秋映で重度の日焼け多発し減収の要因となった。平均糖度：つがる11-12%、リップ13-14%台。秋映13.5%、スイート14%見込、ゴールド13%見込。
- ⑫ ナシ類：果肉先行により収穫は昨年より7日程度早く経過。南水の果形良好。南水平均糖度14%台(陽だまり率40%超え)。ラフランスは追熟が早いことが予想される。全体に8月干ばつにより小玉率高い。
- ⑬ ぶどう：露地成熟早めに推移。高温と水分不足で果肉の軟化進み皮が厚い傾向。露地パープル出荷裂果少なく過去最高の出荷量? シャイン9/2一部出荷開始。糖度上昇早め、果色黄変前に出荷誘導。巨峰9/2～着色順調、日焼け・病害果一部あり
- ⑭ 柿・キウイF：収穫期は昨年より早まる見込み。柿の生産量は昨年並み～やや多い見込み。

## 【2020病虫害対策】

- ① 腐らん病：5月以降枝腐らん病発生非常に多い。梅雨期間感染拡大。
- ② 黒星病：果実被害率1.10%(2年連続小発)。被害葉発生率55%。長梅雨(7月)で二次被害拡大目立った。
- ③ せん孔細菌病：5月上旬～春型枝病斑(多発)、5月中下旬～葉病斑発生、6/10前後～果実被害発生。果実被害は全域多い。特に被害が目立つ園では収穫後から順次ボルドー散布を進める。
- ④ 黒斑病(プラム)：6月頃感染→7月～病斑散見。全域で被害目立った。
- ⑤ 黒とう病(シャインM)：6月上旬から葉・軸部病斑発生。7月に入り発生目立つ。
- ⑥ べと病：梅雨期間で感染拡大。全域で発生。病斑は園地外へ持ち出す対策徹底する。
- ⑦ 晩腐病：梅雨期間で感染。8月末では少発生。糖度が一定基準に達した房から順次収穫を進める。
- ⑧ ハダニ類：8/10頃発生ピーク。お盆後に部分的な発生目立つが全体では少発生。9月発生も確認されるが現状問題ない。
- ⑨ スモモンクイムシ類：発生ピーク5/27(越冬)・7/8(第1次)・8/12(第2次)。梅雨明け後から被害拡大。プラム・りんごで被害目立つ。
- ⑩ カスミカメムシ：展葉後のシャインM等に加害有。6月の房吸汁被害も発生。8月も発生。
- ⑪ カメムシ類：全体で被害多発。過去5年では最も多い発生量。8月の被害は平年並み。
- ⑫ 炭そ病(りんご)：8月中旬から発生。日焼け部分に併発。つがる・秋映で発生多い傾向。中生種中心に発生中。
- ⑬ 輪紋病(りんご)：8月下旬からふじに早期発生。9月被害も散見。大きな減収にはつながらない模様。
- ⑭ 褐斑病(りんご)：8月中旬以降被害葉散見。果実被害は少ない。